

このチラシは、伊丹市議会議員“相崎佐和子”が、市政情報などをお届けしているニュース紙です。

毎月発行（年4回はA3・その他はA4）しており、ポスティング・駅やスーパーマーケット前での配布・郵送などでお届けしています。

現在、伊丹市議会の議長をしています。「議長って何をしているのかわからない」とのお声を頂戴することを踏まえ、この活動ニュースでは、議長公務の様子などを議員活動と同時にご報告しています。



相崎佐和子

政策提言する議会へ ～議会運営委員会 視察～

1月18～19日、議会運営委員会で東海地方へ視察。議会運営について先進事例を見聞しました。果たして伊丹市議会にどう役立てられるのか？ 以下ご報告です。

■機能する常任委員会！ ～愛知県 大府市議会～

まずは愛知県の大府市議会へ。ここは常任委員会が活性化しているとのことで視察。

◎予算決算の常任委員会への付託

- ・予算決算について特別委員会ではなく常任委員会で審査する
- ・メリットは、①全議員が予算決算に関わることができる ②予算決算を連携させての質問ができる
- ・審査は各常任委員会の所管事項、採決は予算決算全体

◎検討事項のPDCAサイクル

- ・決算時に“検討する”と当局が答弁した案件は、次の予算審査時に当局が進捗を説明
- ・議会も当局も“言いつばなし”で終わらないように、との意図(当局は「検討します」と言わなくなった)

◎常任委員会でテーマ活動

- ・委員会でテーマを決め、視察・研究・意見交換会など実施し、最終的に市当局に政策提言
- ・具体的には、視察後の議員間討議・関係団体との意見交換会・調査研究結果の本会議での報告等
- ・時間と労力を取られるが議会全体が活性化

◎他の取り組み

- ・毎定例会後の反省会(議会運営委員による意見交換会というカタチ)
- ・本会議場への電子黒板の導入
- ・傍聴者アンケート

常任委員会の活発な活動内容に驚きました。特に委員会が政策提言までしているのは珍しい。聞くと、意欲をもったベテラン議員が旗を振って一気に進んだのだとか。議会全体で、調査研究して議論して政策提言するサイクルが力強く回っていました。



大府市議会の本会議場
(開放感あふれる
ガラス張り)